

島田市長と氷見市長が互いの「一日市長」に着任

◎秘書課 ☎36・7117

姉妹都市である島田市と富山県氷見市の両市長が、1月25日に互いの「一日市長」を務めました。旧金谷町が1987年に、氷見市と姉妹都市提携を締結。同町と島田市の合併後も姉妹都市として、スポーツ交流や祭りへの相互参加などを通して交流を深めてきました。

この取り組みは、互いの市の政策を学び、市政運営に生かすため、初めて企画されました。島田市には、林正之（はやし まさゆき）の名札を身に付け、こども館や伊太和里の湯など、市内施設を視察しました。林市長



職員から歓迎を受ける林市長(中央)

は「島田は暖かく、いい発想が生まれそう。これからも交流を通じて交流人口を増やし、お互いのまちを活性化させていければと思う。行政レベルだけでなく、民間レベルでの交流も深めていきたい」と今後の両市の関係に期待を寄せていました。

一方、氷見市を訪れた染谷市長は、市役所で臨時庁議に出席。同市の施策について説明を受け、大学生への奨学助成制度や原発の安全協定などについて協議し、「この交流を通じて、地域課題を解決する方策を学び合うことができた」と成果を述べました。また、地域住民との意見交換会へも出席し、氷見市の風土を体感しました。



臨時庁議に出席する染谷市長

事業の推進に思いを込め 今年の「一文字」を公表

◎秘書課 ☎36・7117

染谷市長が、1月8日の定例記者懇談会で、新年抱負の「一文字」を公表しました。

市長は「今年度は、新病院建設、新東名島田金谷インター周辺地域整備事業など、多くの大事業を着実に『推進』していかねばならない大事な1年。また、新たにデジタルマーケティングの手法を取り入れ、未来に向かって市政運営を『進化』させ、市政だけでなく市民や市内事業者の『躍進』『進展』につなげていきたい」

と「一文字」に込めた新年への想いを話しました。



「進」を手に抱負を語る染谷市長

広報しまだが県広報コンクール最優秀賞を連続受賞

◎広報情報課 ☎36・7118

県と県広報協会は、1月18日に「平成30年度静岡県広報コンクール」の審査会を開催。昨年発行した広報しまだ11月号が広報紙(市)の部門で最優秀賞を受賞しました。同部門での最優秀賞受賞は、昨年度に続き2年連続となります。

同コンクールは、県内の市町や団体が昨年中に発行した広報紙・広報紙掲載写真・公開した広報映像などを対象に審査され、今年度は計6部門110点の応募がありました。公共救急サービスについて特集し

た11月号は、4月に行われる(公社)日本広報協会主催の「平成31年全国広報コンクール」に静岡県代表として推薦されます。

今後も、皆さんに愛される広報紙づくりに励みます。取材に伺った際は、ご協力をお願いします。

